

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和3年11月29日

和泉市長 あて

団体名 泉州信太山盆踊り保存会

代表者名 西田由紀夫

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	<u>700,000</u> 円 (うち、対象経費 <u>700,000</u> 円)
支援金 交付申請額	<u>350,000</u> 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

( はい ・ いいえ )

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	センシュウシノダヤマボンオド ホゾンカイ		
団体名	泉州信太山盆踊り保存会		
団体の目的	この会は、地域の伝承文化である泉州信太山盆踊りを保存していくと共に、地域の伝承文化を伝え、普及・振興を図る。また、地域の親睦交流の場づくりも構築し、地域の発展をめざすことを目的とする。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	ニシダ ユキオ		
代表者氏名	西 田 由 紀 夫		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※		電 話
	フリガナ	モリ ナオキ	
	森 尚 樹		F A X
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	年 月	主な活動地域	和泉市内
会報等の発行	有 ( 回発行 ) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	会員数	50 人
メールアドレス	@		
ホームページ	http://		
主な事業内容	(1) 泉州信太山盆踊り保存の事業 (2) 泉州信太山盆踊り普及の事業 (3) 地域の親睦交流の場づくり事業 (4) 泉州信太山盆踊りの支援事業 他		
主な活動の実績	和泉市内のイベントへの出演、地元・信太山盆踊りの支援、自衛隊信太山駐屯地 納涼大会の支援、盆踊り講座の開催、幼保・小学校への盆踊り指導、他		
国・府・市及び 各種団体等から 他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	R1 R2	ちよいず	350,000 円 96,638 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第3号（第7条・第15条関係）

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	<p>①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等  地域（富秋中学校区）は、少子高齢化が進み、若年層の流出や新たな住民の流入などにより、地域全体のつながりや絆・支え合いの希薄化が進んでいます。また、市営住宅の建て替えや小中一貫校の新設、公共施設のあり方など新たなまちづくりも地域で議論されており、地域の伝承文化の継承として信太山盆踊りもまちづくりとひとづくりの一端を担っていかねばと考えています。</p> <p>②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果  長年に亘り、地域に伝えられ、大事に守られてきた泉州信太山盆踊りを通して、地域の伝承を伝えると共に、世代間の交流と地域連携を図り、地域のコミュニティの活性化や地域の絆を深めることをめざします。子どもたちにおいては盆踊りの歴史や地域の方々の思いを伝え、郷土愛や地域への誇りを育んでいきます。  また、信太山盆踊りを地域の宝として次世代に伝え、府の無形民俗文化財などをめざして魅力あるまちづくりの一環にしていきます</p>
4 事業内容（※別紙添付可）	<p>①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。  <input type="checkbox"/> 市民向け盆踊り講座の実施  <input type="checkbox"/> 子ども向け盆踊り講座の実施  <input type="checkbox"/> 伝承文化の語り部活動  <input type="checkbox"/> 信太山盆踊りの支援（太鼓、三味線、音頭、囃子等）  <input type="checkbox"/> 小学校・保育園への出前講座</p>
②実施期間（日時）	2022年4月～2023年3月
③実施場所	和泉市内
④主な対象者	和泉市民、地域の高齢者～子ども
⑤参加予定者数	参加予定者 30人～50人
⑥告知方法	各種団体と連携した周知（ニュース等） 各校園への周知

## 5 事業スケジュール

次期（月）	内容
4月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
5月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
6月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
7月	盆踊り講座（市民向け・子ども）・語り部活動
	保・幼・小への盆踊り出前講座
8月	盆踊り講座（市民向け一般・子ども）
	保・幼・小への盆踊り出前講座
	信太山盆踊りへの支援活動
9月	盆踊り講座（市民向け・子ども）
10月	盆踊り講座（市民向け・子ども）
11月	盆踊り講座（市民向け・子ども）
12月	盆踊り講座（市民向け・子ども）
1月	盆踊り講座（市民向け・子ども）
2月	盆踊り講座（市民向け・子ども）
3月	盆踊り講座（市民向け・子ども）

## 6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）

### ①公益性

①地域の伝承文化である信太山盆踊りは地域に愛され、地域の誇りとして継承されてきました。和泉市の中でも一番大きな盆踊りであり和泉市の財産と魅力でもあります。こうした信太山盆踊りを一人でも多くの市民の方々に知っていただくことは重要であり共感していただける事業であると思います。

②信太山盆踊りの音頭の歌詞には葛葉物語や小栗判官物語など和泉市にゆかりのある物語が取り込まれています。盆踊りを通して多くの人に和泉市の歴史や伝承を知っていただけることができます。

③地域の少子高齢化や若者の流出などが進み地域全体の絆や支え合いが希薄化しています。そうした中、あらためて信太山盆踊りを子どもたちや新たな年代層や住民に継承していくことで世代間交流が生まれ、地域の活性化につながり、地域のまちづくりの一端を担っていくことにもなると思います。

また、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため信太山盆踊りをはじめ様々なイベントや活動が中止しました。特に地域にとって盆踊りは住民の交流・憩いの場であり、ふるさとに帰ってくる場、年に一度のイベントを期待する子どもから高齢者等も多くいました。盆踊りの中止は地域の人と人のつながりの希薄化や孤立化が進み地域にとって大きなマイナスの影響がありました。

あらためて信太山盆踊り事業を積極的に推進し、地域と市民が元気づけられる、人と人がつながる事業展開をおこなっていきます。（コロナ禍の状況やコロナ感染予防対策等を徹底したなかでの事業実施）

②継続性	<p>④自治会や各種団体と連携し、信太山盆踊りを運営するとともに各校園などを出前講座として実施し、だれでも参加しやすい環境をつくり、事業の発展と継続に取り組んでいきます。</p> <p>⑤各校園での出前講座、様々なイベントに参加し、信太山盆踊りの魅力と歴史を広め、和泉市の魅力としても発信します。</p> <p>⑥現在の財政状況では補助金がないと厳しい状態ですが、事業の目的を理解してもらい協賛金や寄付金などの取り組みを検討していきます。</p>
③実行性	<p>⑦自治会や各種団体と目的・予算を共有しながら連携し、役割分担とネットワークで事業をスムーズに運営していきます。</p> <p>⑧自治会や各種団体との連携と地域住民の協力で安定した体制をつくっています。</p> <p>⑨予算については必要最低限を計上しました。講師についても信太山盆踊りは他に類さない地域特有の音頭や踊りのため一般的な講師では難しくこれまで長く携わり継承していただいている講師をお願いしているためこのような申請額となります。</p> <p>⑩役員や構成員による会議等を開催し、随時に計画の進行管理や情報交換と目的の意思統一を図りながら安定した組織づくりをおこなっています。</p>
④協働性	<p>⑪子どもから高齢者まで誰でも参加しやすい環境づくりに取り組んでいます。学校園と連携しながら出前講座を開催し、子どもたちにも安心安全な参加できる環境づくりを積極的に取り組んでいます。</p> <p>⑫信太山盆踊り開催については自治会から各種団体まで役割分担をしながら運営しています。こうした取り組みを通して地域課題の共有や課題解消にむけての意見交換の場にもなっています。また、他の地域や他市の伝承文化の交流も積極的におこなっています。</p> <p>⑬盆踊り講座をとおして世代間交流や地域の強み等の共有を図っています。そうしたことで地域愛や地域への誇りづくりにもつながっています。</p>
⑤公開性	<p>⑭自治体・各種団体と学校・園への情報提供。盆踊り開催の立て看板。地域住民への回覧や掲示板の活用。</p> <p>⑮盆踊り本番では子どもたちが太鼓や三味線、音頭や踊りを体験できるように子どもタイムとして盆踊りにふれる機会をつくっています。高齢者や障がい者も参加できるように各種団体がテント等を準備して間近で盆踊りを観れる環境づくりに取り組んでいます。</p> <p>また、コロナ禍に対応した盆踊りの実施についても関係機関、自治体・各種団体と協議検討していきます。</p>
⑥発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	<p>⑯歴史と伝統のある泉州信太山盆踊りに参加することによって和泉市のことに興味を持ち、和泉市の魅力と誇りになるような事業をめざします。そして和泉市の活性化につながる事業としても取り組みます。</p>

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

## 収支予算書

事業の名称：伝承文化「泉州信太山盆踊り」保存・普及・交流事業

### 1. 【収入】

(単位：円)

項目	金額	積算根拠
支援金	350,000円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	0円	
自主財源	350,000円	
合計		

### 2. 【支出】

(単位：円)

費目	金額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	450,000円	講師謝礼費 30,000円×15回
消耗品費	162,000円	太鼓バチ代 3,000円×50本 用紙・印・事務用品等（12,000円）
食糧費	38,000円	講師食事代（1講座講師3～4名・一人あたり900円）
使用料及び賃借料	50,000円	会場借り上げ 10,000円×5回
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合計	700,000円	
対象経費	700,000円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。  
※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。